

Title	組織の壁を越える動きを促すためのマネジメント・コントロールの検討
Sub Title	A study of management control for encouraging to interact across organizational silos
Author	横田, 絵理(Yokota, Eri)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2018
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>組織内で生じる課題の一つとして、組織内にある組織内組織へのヒト・モノ・情報の停滞、いわゆる「組織の壁」の存在は以前からも、そして現代においても継続的課題である。マネジメント・コントロールの理論は、従来の縦割りに分散している組織において、その目的を果たすためのツールとして発展してきた。しかし、縦割り組織間に存在する組織の壁を壊し、横通しのよい組織とするためには従来型マネジメント・コントロールの考え方や概念変更も含め、従来型の理論からの脱却も必要となる。そこで、本研究では、組織間に存在する組織の壁を壊すためのマネジメント・コントロールについて検討した。</p> <p>第1に、組織内組織の間の情報を促すためのマネジメント・コントロール・システムが、先行研究でどのように研究されてきたかを管理会計の分野から把握した。階層組織と縦割組織に存在する組織の壁を乗り越え、組織全体としての能力と成果を上げるために、マネジメント・コントロール・システム自体のどこを変化しなければいけないのかを考察するための基盤となる研究を行った。従来のマネジメント・コントロールの研究の中でこのような視点での研究がどの程度あり、どこまで明示されているかを確認するため、先行研究の検討とともに、学会での資料収集を中心として行った。</p> <p>第2に、実態として企業においてどのような工夫をしているのかを企業ヒヤリングから検討をおこなった。組織の中に存在する目に見えない壁を越えたコミュニケーションを促進するためのマネジメント・コントロール・システムの可能性を検討するために、複数の企業に対してヒヤリングを行った。</p> <p>結論として、たとえば、CSR活動のように、各部門の活動を集約するような横どおしの活動を促すシステムが、担当者のコミュニケーションと共に有用であることがわかった。</p> <p>As one of the problems to occur in an organization, the existence of so-called "wall of the organization" or "silos" are still big problems in from the past and the present age. The theory of the management control has developed as a system to achieve the purpose in the organization with a conventional hierarchy. However, we have to consider to break the wall of the existing inside organization to construct a new concept of the management control.</p> <p>We reviewed the precedent studies from the field of the management accounting and organizational theory at first. It is a base thought for to construct new concept of management control.</p> <p>We also considered as the actual situation in some companies by interviews. I examined the possibility of the management control system to promote the communication beyond the wall in an organization. For example, the system which promoted the wide consecutive activity that gathered the data or information in many departments in the organization with the communication of the person in charge like CSR activity.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=201700001-20170120">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=201700001-20170120</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	商学部	職名	教授	補助額	300 (A) 千円
	氏名	横田 絵理	氏名 (英語)	Eri Yokota		
研究課題 (日本語)						
組織の壁を越える動きを促すためのマネジメント・コントロールの検討						
研究課題 (英訳)						
A study of management control for encouraging to interact across organizational silos						
1. 研究成果実績の概要						
<p>組織内で生じる課題の一つとして、組織内にある組織内組織へのヒト・モノ・情報の停滞、いわゆる「組織の壁」の存在は以前からも、そして現代においても継続的課題である。マネジメント・コントロールの理論は、従来の縦割りに分散している組織において、その目的を果たすためのツールとして発展してきた。しかし、縦割り組織間に存在する組織の壁を壊し、横通しのよい組織とするためには従来型マネジメント・コントロールの考え方や概念変更も含め、従来型の理論からの脱却も必要となる。そこで、本研究では、組織間に存在する組織の壁を壊すためのマネジメント・コントロールについて検討した。</p> <p>第1に、組織内組織の間の情報を促すためのマネジメント・コントロール・システムが、先行研究でどのように研究されてきたかを管理会計の分野から把握した。階層組織と縦割組織に存在する組織の壁を乗り越え、組織全体としての能力と成果を上げるために、マネジメント・コントロール・システム自体のどこを変化しなければいけないのかを考察するための基盤となる研究を行った。従来のマネジメント・コントロールの研究の中でこのような視点での研究がどの程度あり、どこまで明示されているかを確認するため、先行研究の検討とともに、学会での資料収集を中心として行った。</p> <p>第2に、実態として企業においてどのような工夫をしているのかを企業ヒヤリングから検討をおこなった。組織の中に存在する目に見えない壁を越えたコミュニケーションを促進するためのマネジメント・コントロール・システムの可能性を検討するために、複数の企業に対してヒヤリングを行った。</p> <p>結論として、たとえば、CSR活動のように、各部門の活動を集約するような横どおしの活動を促すシステムが、担当者のコミュニケーションと共に有用であることがわかった。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>As one of the problems to occur in an organization, the existence of so-called "wall of the organization" or "silos" are still big problems in from the past and the present age. The theory of the management control has developed as a system to achieve the purpose in the organization with a conventional hierarchy. However, we have to consider to break the wall of the existing inside organization to construct a new concept of the management control.</p> <p>We reviewed the precedent studies from the field of the management accounting and organizational theory at first. It is a base thought for to construct new concept of management control.</p> <p>We also considered as the actual situation in some companies by interviews. I examined the possibility of the management control system to promote the communication beyond the wall in an organization. For example, the system which promoted the wide consecutive activity that gathered the data or information in many departments in the organization with the communication of the person in charge like CSR activity.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
横田絵理	「純粹持ち株会社から事業持ち株会社へ—遠心力と求心力のバランス—」園田智昭編著『企業グループの管理会計』中央経済社 2017 57-73。	中央経済社	2017			
目時壮浩・横田絵理	「CSR・統合報告が組織内部のマネジメントに与える影響—受動的直接的影響—」	日本会計学会特別委員会最終報告書	2017年9月			
横田絵理	アヴァンティ	慶應義塾大学ビジネス・スクール	2017年7月			